

その他フェロモントラップ誘殺消長 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

【ナシヒメシンクイ発生生態】

- ・リンゴ産地では主に年4回程度発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬頃、第1世代成虫は6月、第2世代以降の成虫は8月～9月頃に発生し、最後の老熟幼虫が越冬する。
- ・第1世代成虫がモモ、スモモ、アンズなどで芯折れ被害を引き起こす。

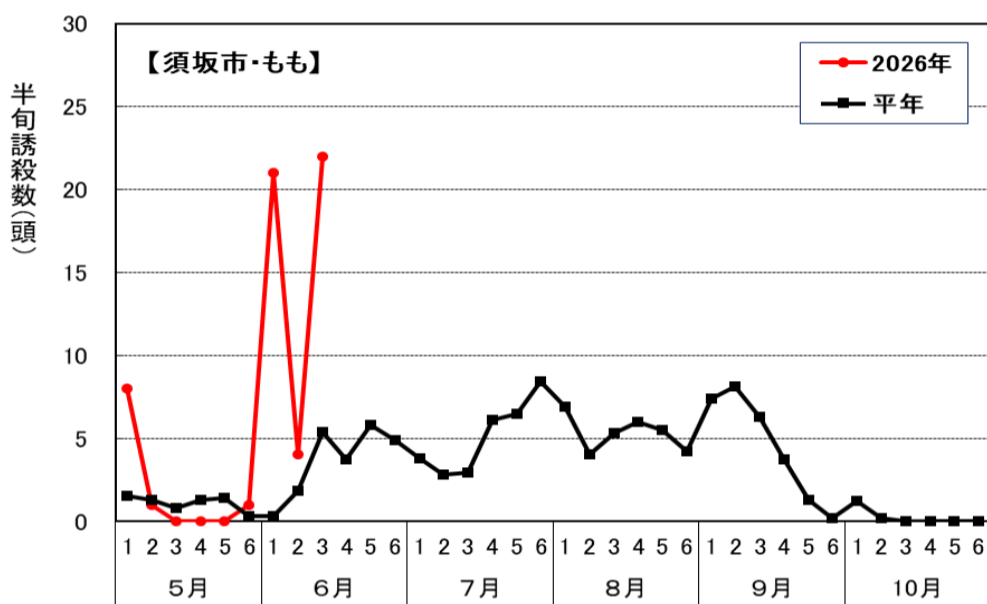
【モモノゴマダラメイガ発生生態】

- ・年3回発生する。越冬世代成虫は5月中旬から7月上旬、第1世代成虫は7月下旬から8月下旬、第2世代成虫は8月下旬から10月に発生する。老熟幼虫で越冬する。
- ・越冬はクリやカキが多く、越冬世代成虫の産卵はモモやスモモが多いため、カキ、クリ近隣のモモは被害が出やすい。第1、第2世代の成虫はクリ、カキに産卵する。
- ・果実の食害量は大きい。

【コスカシバ発生生態】

- ・年1回発生であるが、発生期間は5月から10月と長期間にわたる。幼虫もしくは蛹で越冬する。
- ・幹に食入するが、被害が大きくなると、胴枯病等も併発し、樹が衰弱する。

○ナシヒメシンクイ (須坂市・病害虫防除部)



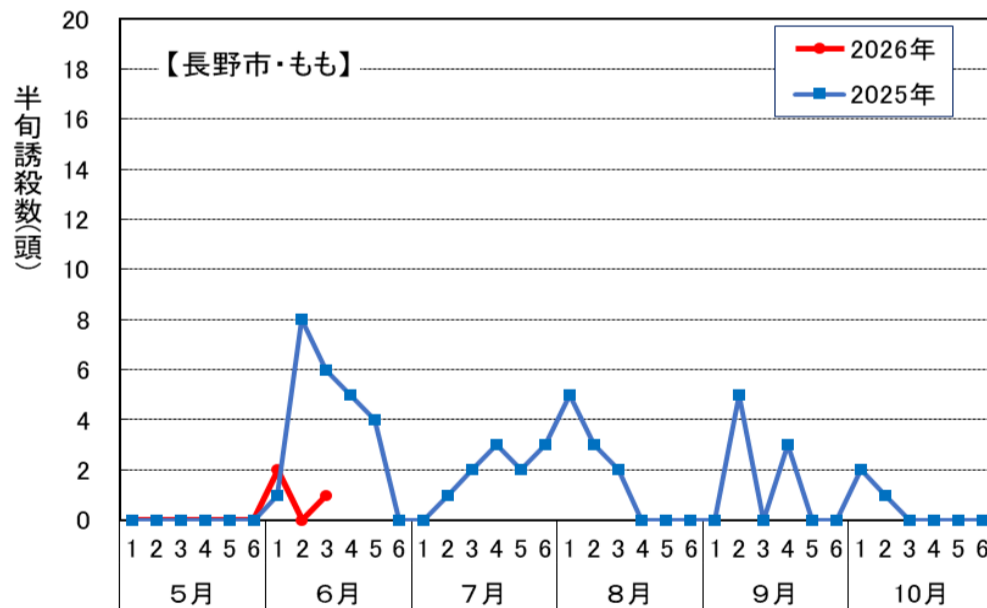
【調査地点】(標高約 350m)

- ・須坂市 (ももほ場)
- ・平年は2016年～2025年の平均値

【コメント】

- ・5月中旬から下旬にかけて、誘殺数が減少したが、6月に入り、波はあるものの誘殺数が多い状態となっている。

○モモノゴマダラメイガ (長野市・病害虫防除部)



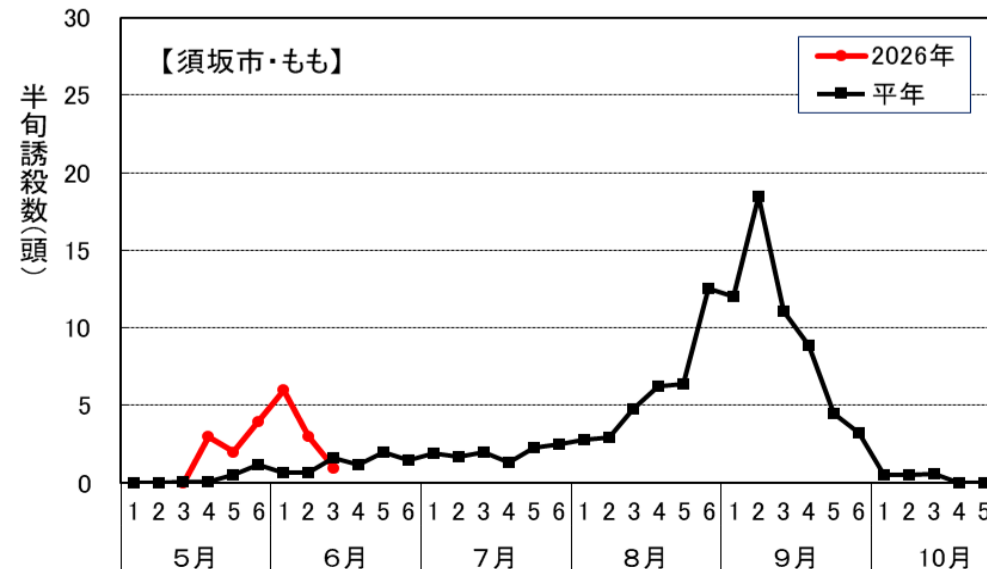
【調査地点】(標高約 340m)

- ・長野市 (ももほ場)
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・6月第1半旬に今年度初の誘殺を記録したが、ここまでの誘殺数は前年を下回っている。

○コスカシバ (須坂市・病害虫防除部)



【調査地点】(標高約 350m)

- ・須坂市 (ももほ場)
- ・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

- ・6月第3半旬はほぼ平年並の誘殺であったが、ここまでの総誘殺数は平年より多い。